

旭川トレセン女子 U-12 活動報告

第13回びわ湖カップなでしこサッカー大会 (U-12)

2月17日(土)・18日(日)に開催された「全国の仲間と深め合おう 第13回びわ湖カップなでしこサッカー大会 (U-12)」に旭川9名・羽幌1名の10名で参加してきました。

チームの活動があるなかでの選手派遣して頂き、ありがとうございました。日頃の指導者の方々のご指導に深く感謝します。



【大会結果報告】

・全国から32チームが参加

(北海道2・関東8・北信越2・東海5・近畿8・四国2・中国1・九州4)

○予選リーグ グループG

vs 朝日インテック・ラブリッジ名古屋ジュニア

0-0 △

vs FC クラベリーナ

2-1 (0-0) ○

得点者 湯浅花/菊地奏帆

vs 和歌山オレンジ

0-1 (0-0) ×

○順位決定戦トーナメント (3位トーナメント)

vs 戸塚FC ガールズ U12

1-1 (0-0) PK5-6 ×

得点者 加藤帆華

vs 中濃女子FC

0-1 (0-0) ×

vs 大宝サッカースポーツ少年団

2-2 (0-0) PK2-3 ×

得点者 菊池奏帆/大島いちか

32チーム中24位で大会をおえました。

【成果と課題】

○成果

全体の成果としては、拮抗した試合が多く十分戦えると感じた。攻撃では、積極的に前に向かう姿勢が多くみられた。その中でトライ&エラーがありエラーがあっても修正したトライすることで試合を重ねる度に成長がみられた。守備では、1対1での粘り強い守備が多くめられた。また、すべての選手ではないが守備の優先順位を理解しインターセプトを狙う為に正しいポジショニングを選手が考え、良い準備と予測を持てるプレーがみられた。

○課題

課題では、止める・蹴るといった基本的技術のミスが多く自分の置きたい場所にコントロールができず、簡単にボールを失いフィニッシュのラストパスがずれて得点チャンスを逃す場面が多かった。また、左右差なくプレーすることが出来ないことから、プレーの精度を欠くことが多かった。道内よりもプレッシャーが強くボールが奪取される場面が多く、奪い返すために選手の距離が縮まることで、攻撃に移った時の選手間の距離が取れなかった。ボールを奪った選手は「いつ」「なに」を観てプレーを選択するのか、周りの選手は、「いつ」「どこ」にサポートするのかを状況を判断することが必要であり、ボール状況に応じてどのようにかわるのかを考えてプレーすることが必要である。

以上